

# 幼稚園要覧

(2020年度)

## 学校法人 聖母学園 高松聖母幼稚園

所在地 〒760-0017 高松市番町2丁目4-31

電話 (087) 851-2372

F A X (087) 823-0417

ホームページ <http://www.seibogakuen.ed.jp>

# 1. 沿革

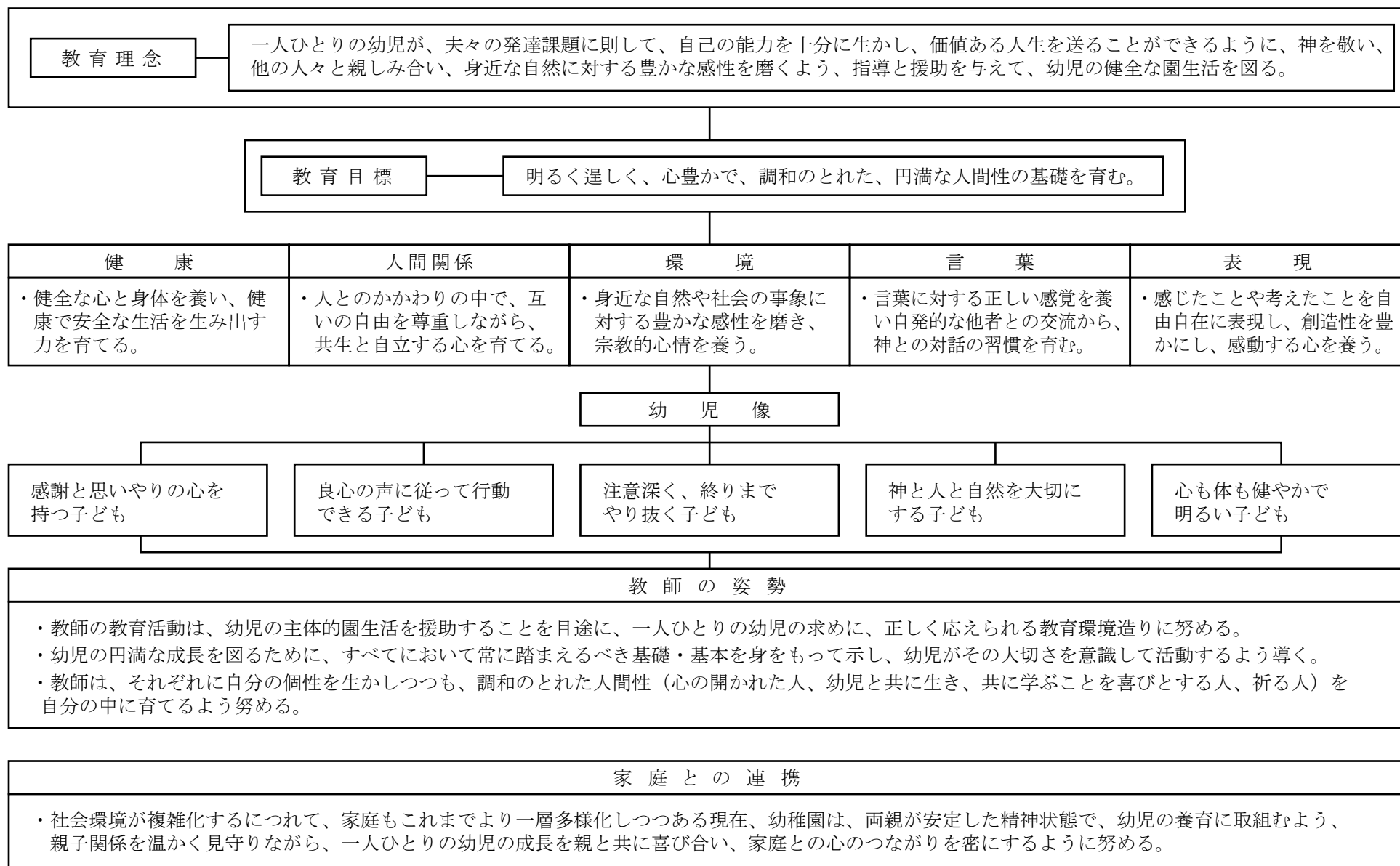
## (1) 略史

創 立 者	セルヒオ・サンタマリア
創 立 年 月 日	昭和24年4月1日 開設。 同年5月31日 認可。
昭和30年 4 月	園舎増改築完成。 昭和36年6月 スクールバスによる通園開始。
昭和45年 4 月	鉄筋園舎に改築完成。 給食設備完備、完全給食実施。 昭和45年7月 幼児用プール完成。
昭和50年11月	創立25周年記念式典・園歌作成。
昭和57年 7 月 27 日	学校法人認可（6園包括、聖母学園）
昭和62年 8 月 25 日	園外保育場（高松聖母・自然保育ランド）開設。
平成11年 5 月 25 日	創立50周年記念式典・祝賀会。
平成11年 5 月 30 日	記念演奏会（パイプオルガン・ヴィオラ、ダ、ガンバ）
平成16年 9 月 13 日	改装園舎竣工式・祝賀会

## (2) 歴代園長

初 代	セルヒオ・サンタマリア	（昭和24年～昭和25年）
第2代	田 中 英 吉	（昭和25年～昭和44年）
第3代	池 田 義 高	（昭和45年～平成23年）
第4代	松 永 洋 司	（平成24年～平成29年）
第5代	湖 崎 由 香	（平成30年～ ）

## 2. 教育方針



### 3. 収容定員（学級編成）

	組	男児	女児	計
3 歳児	ほ し	—	—	25
	すみれ	—	—	25
4 歳児	つ き	—	—	30
	ば ら	—	—	30
5 歳児	てんし	—	—	30
	ゆ り	—	—	30
計	6	—	—	170

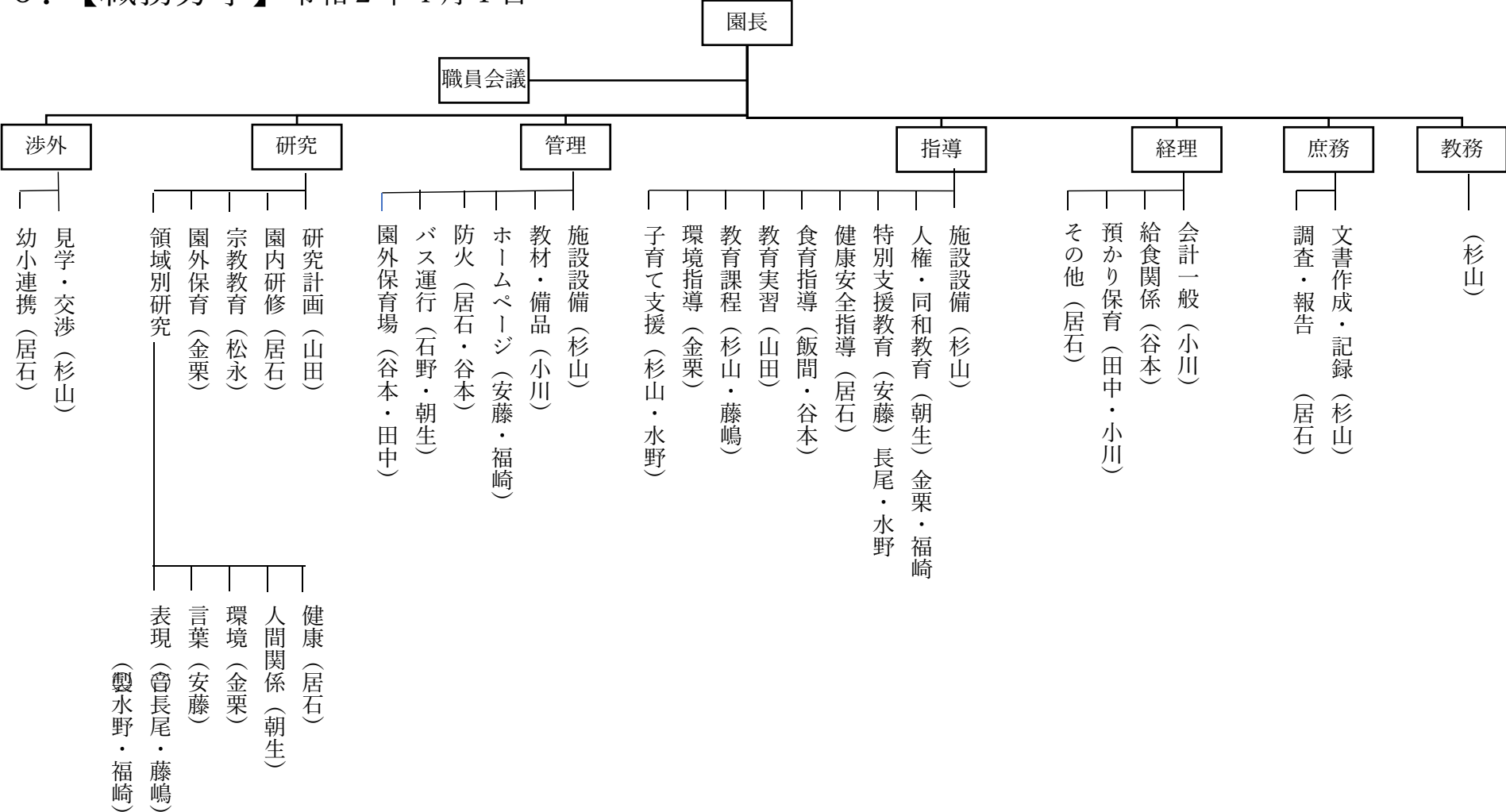
## 4. 幼稚園の生活

日 課 表 [ 週 間 ]				
月	火	水	木	金
8:30 登園 }	8:30 登園 }	8:30 登園 }	8:30 登園 }	8:30 登園 }
9:00 自由保育	9:00 自由保育	9:00 自由保育	9:00 自由保育	9:00 自由保育
9:50 朝の会	10:00 朝の会	10:00 朝の会	9:50 朝の会	10:00 朝の会
10:00 チャプレン講話	10:15 英語学習	10:15 設定保育	10:10 リズム体操	10:15 設定保育
10:30 設定保育	(専門講師による 指導)		(専門講師による 指導)	
			10:45 設定保育	
				11:45 給食準備
11:45 給食準備	11:45 給食準備	11:45 給食準備	11:45 給食準備	12:00 給食
12:00 給食	12:00 給食	12:00 給食	12:00 給食	13:00 設定保育
13:00 設定保育	13:00 設定保育	13:00 設定保育	13:00 設定保育	13:30 「聖書物語」 (ビデオ視聴)
14:00 帰りの会	14:00 帰りの会	14:00 帰りの会	14:00 帰りの会	13:50 降園準備 (週末に持ち帰るもの)
順次降園	順次降園	順次降園	順次降園	14:00 帰りの会 順次降園
		[特別思いやりの日]		
<p>登降園時刻について</p> <p>◎登降園時刻は一応徒歩通園者の時刻で、通園バスの利用者は、時間差運行等により流動的となる。</p> <p>◎長期または一時的に、既定降園時刻では支障がある場合には「預かり保育」を利用できる。(春・夏・冬休業中は全日預かり可)</p>				

## 5. 日課表 [一日の流れ]

時間	活動	動
8:30 }	登園 ・ 朝の挨拶 視診を受ける 出席カードのシール貼り 所持品の始末	バス通園 } 徒歩通園 }
9:00	自由保育	
10:00	朝の会 ・ 朝の歌 お祈り 出席点呼	
10:15	設定保育	
11:45	給食準備	
12:00	給食 ・ お祈り 給食を食べる 後片付け 食後の休息	
13:00	設定保育	
14:00	帰りの会 ・ 今日の反省、明日の伝達 帰り支度 視診を受ける お祈り 帰りの挨拶	
	バス通園 } 徒歩通園 }	バス通園 } 徒歩通園 }
<p>預り保育の時間</p> <p>① 保育終了後 ～ 17:50 まで</p> <p>② 春・夏・冬季休業期間 8:00 ～ 17:50</p>		

6. 【職務分掌】 令和2年4月1日



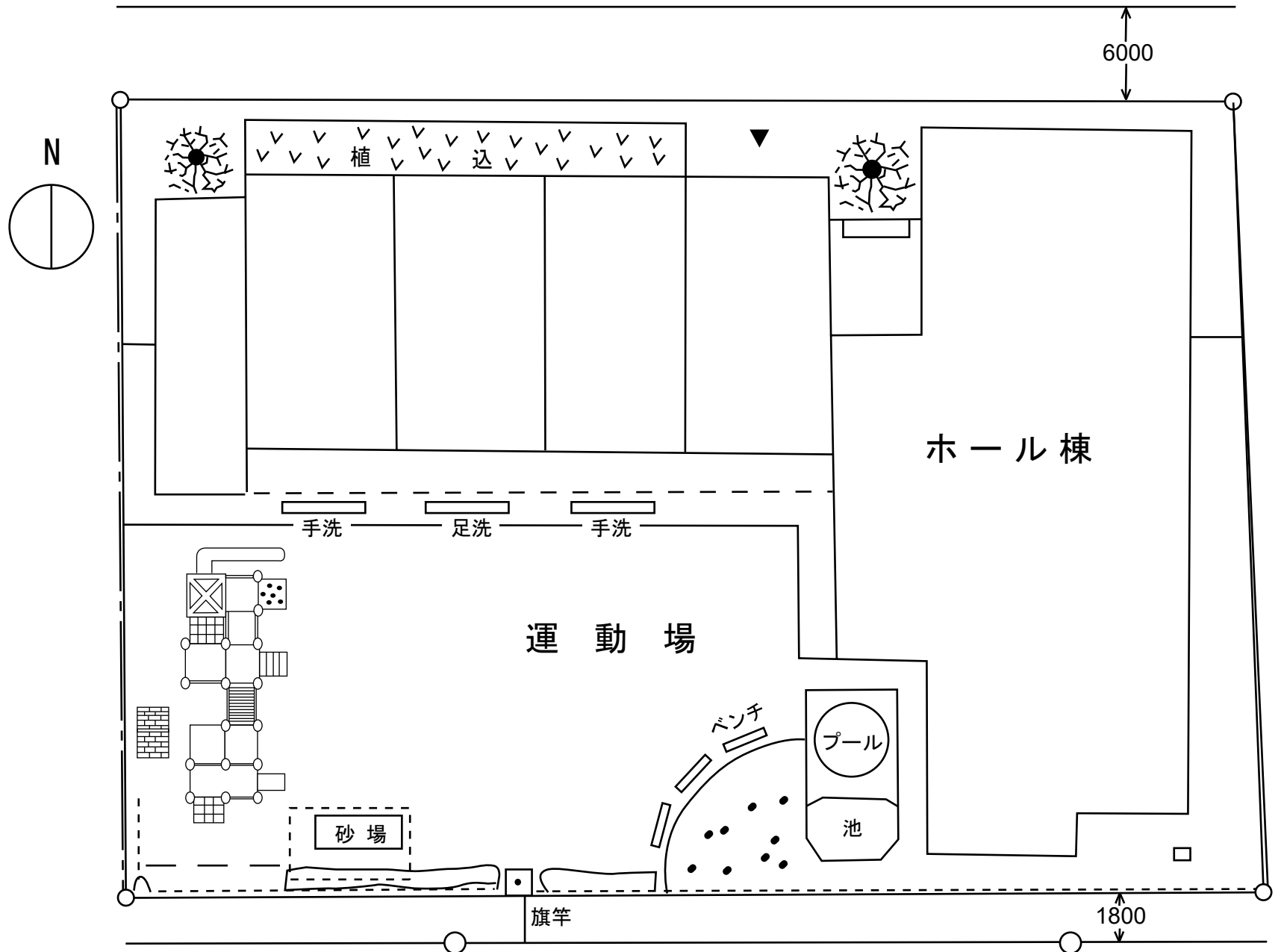
# 7. 行事予定表

## 年間行事予定

月	儀式的行事	その他の行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始業式</li> <li>・ 入園式</li> <li>・ 誕生会 (毎月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体計測 (毎月)</li> <li>・ 避難訓練 (随時)</li> <li>・ 家庭訪問</li> <li>・ 母の会総会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同朝礼 (毎週月曜日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園まつり (年長児)</li> <li>・ 親子遠足</li> <li>・ 健康診断 歯科、内科、眼科検診、検尿、視力検査</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャプレン講話開始 (毎週月曜日)</li> <li>・ プール開き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏服更衣</li> <li>・ 保育参観</li> <li>・ 花時計見学 (年長児)</li> <li>・ 歯科検診</li> <li>・ 交通安全教室</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終業式</li> <li>・ 夏季休業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七夕まつり</li> <li>・ 宿泊保育 (年長児)</li> <li>・ プール遊び</li> <li>・ 個人懇談</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏季休業</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始業式</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更衣</li> <li>・ 母の会バザー</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七五三祝い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入園児募集開始</li> <li>・ 家族参観、講演会</li> <li>・ 芋ほり</li> <li>・ 老人ホーム慰問 (年長児)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリスマス遊戯会</li> <li>・ 終業式</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もちつき大会</li> <li>・ 交通安全教室</li> <li>・ 保育参観</li> </ul>
2月		
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽会</li> <li>・ 卒園式、卒園感謝の儀式</li> <li>・ 終業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おわかれ遠足</li> </ul>



## 8. 施設の概要（平面）



# 園歌

しずかに お祈り 聖母幼稚園  
 愛のかね 愛のうた  
 マリアさま いつも ほほえんで  
 天使の うたが にあいます  
 白さが まぶしい 塔だから  
 高松の 子ども  
 あなたも わたしも  
 松のように 美しく  
 松のように たくましく  
 輝くひとみの 聖母幼稚園  
 青い空 青い海  
 神さまは きつと いらっしやる  
 みんなで こいで 行きましょう  
 四国は 大きな 船だから

湯中山村千栄子  
 昭作曲詞



作詞者  
 中村 千栄子

●略歴  
 昭和7年 新潟県柏崎市に生まれる  
 昭和20年 県立柏崎高等女学校から山脇学園  
 高校を経て同校卒業  
 昭和28年 東京女子大学短期大学部国語科卒  
 昭和29年 新潟大学学生歌に応募、入選  
 この頃から詩作の道に入る  
 昭和30年 同郷の新野尖と結婚、「ママとかけっこ」「ふしきでんき」などNHK・T・Vのうたを作詩。三女の母

●作詩者の言葉  
 「四国は第二の故郷」と、五年前に招かれた時のカトリックの方々と「聖母幼稚園園歌」を書き交わす機会を与えられ、作詩者としてこれ以上の喜びはない。  
 どんな遠いところへも、自分の眼と心で確かめるために出掛けて行って作詩するということ信条から、再び四国入りをし、すがすがしい園の前に立ち、健かな子ども達と話した時、詩の第一節が胸の底から湧き上り、梅雨明けの青空と入道雲の下の瀬戸内の帰途の船の中で、それは決定的となった。輝く瞳の、柔かい心に、いつまでも残る歌でありたいと、祈るような気持で書きあげた聖母幼稚園の園歌。湯山先生の名曲を得て、私の小さな歴史の中に、四国の方々と園いきすなど共に、生涯印象深く残るものと、信じたい。

昭和39年 詩集「レモンと海」を出版する  
 昭和41年 女声合唱組曲「愛の風船」(大中恩曲)芸術祭奨励賞受賞  
 昭和46年 文化庁委嘱により、混声合唱組曲「風のうた」(大中恩曲)作詩  
 昭和47年度NHK全国学校音楽コンクール、小学校課題曲「トランペット吹きながら」(湯山昭作曲)を作詩  
 現住所 東京都大田区上池台3-18-17



作曲者  
 湯山 昭

●略歴  
 昭和28年 第22回毎日音楽コンクール作曲部門に入賞。(第1位次席)  
 昭和29年 第23回毎日音楽コンクール作曲部門第2位  
 昭和30年 芸大を卒業。以後、精力的に作曲活動をつづけ、以下に述べる数多くの作品を世に送り出す。  
 昭和45年 昭和45年度芸術祭大賞受賞(ラジオ部門)  
 昭和48年 第3回日本童謡賞受賞  
 現在は、作曲活動のほか、全日本合唱連盟常任理事、東京都合唱連盟理事長、日本作曲家協議会常

●作曲者の言葉  
 聖母幼稚園……こんな素敵な名前前の幼稚園に通っている高松の小さなお友達は、きっと素直で明るい子どもたちがいると思います。その小さなお友達のために、園歌を作曲することが出来て、いま私はとても幸せです。  
 この園歌は、ふつうの園歌とちがって、トリオ(中間部)がついていて、「まつのようにたくましく」ところがその部分ですが、幼稚園の園歌としてはとても新しい形式です。また詩のほうも、「しこくはおおきなふねだから……」というように、大変におもいきり表現の歌いだしてはじまって、新しい子どもの歌の生命力といったものが詩の全体ににじみ出ています。  
 どうかこの歌をいつまでも、きもちをこめて明るく歌いつづけていて下さいませよように。

任委員などをつとめ、対外的な折衝に努力している。  
 作品としては、徳島をテーマとした「阿波物語」を作曲中。  
 (主な作品)  
 「ピアノ」●ピアノソナタ●日曜日のソナタ  
 ●お菓子の世界●こどもの国  
 [合唱]●コタンの歌●愛の河●葡萄の歌●四国の子ども歌●小さな目  
 [器楽作品]●マリンバとアルトサクソフォーンのためのディヴェルティメント●ヴァイオリン小奏鳴曲●三面の塔によるカプリース●子どものための交響組曲

せいぼようえんえんが  
聖母幼稚園園歌

作詞 中村 千栄子  
作曲 湯山 昭

あかるく、きもちをこめて (♩=112~116くらい)

あかるく、きもちをこめて (♩=112~116くらい)

1. しこくはおおきな ふねだから みんなでこいで いきま(は)う  
2. しろさがまぶしい とうだから てんしのうたが にあ(い)ます

かみさまは 一きつといらっしる  
マリアさま 一いつもほほえんで

あおいそら あおいうみ か がやくひとみの せいぼ  
あいのかね あいのうた しずかにおいのり せいぼ

おちえん

Trio  
まつのうに たくましく まつのうに うつくしく

あなとも わたしも たかまつのこども